



**Count on it.**

Form No. 3394-472 Rev A

オペレーターズマニュアル

## 27 インチ・バーチカッター

Reelmaster® 3100-D シリーズ DPA カッティング  
ユニット用

モデル番号03184—シリアル番号 315000001 以上



## ▲ 警告

### カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、  
ガンや先天性異常などの原因となる化学物  
質が含まれているとされております。

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。



図 1

#### 1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

## はじめに

このバーチカッターキットは、乗用型の装置に取り付けて使用する専門業務用の製品であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園、スポーツフィールドや商用目的で使用される芝生にバーチカット作業を行うことを主たる目的として製造されております。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切で安全な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

弊社に直接おたずねをいただく場合 [www.Toro.com](http://www.Toro.com) で製品の安全・運転講習資料の入手、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

モデル番号 \_\_\_\_\_

シリアル番号 \_\_\_\_\_

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号  1 を使用しております。死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから必ずお守りください。

# 目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 安全について .....            | 3  |
| 安全ラベルと指示ラベル .....       | 4  |
| 組み立て .....              | 5  |
| 1 バーチカッターの点検 .....      | 6  |
| 2 移動用ローラを取り付ける .....    | 6  |
| 3 ブレードの深さを調整する .....    | 6  |
| 4 後ガラスシールドを調整する .....   | 7  |
| 5 ローラスクレーパを調整する .....   | 7  |
| 6 移動用ローラを調整する .....     | 8  |
| 7 バーチカッターリールの取り付け ..... | 8  |
| 製品の概要 .....             | 9  |
| 仕様 .....                | 9  |
| 運転操作 .....              | 9  |
| トレーニング期間 .....          | 9  |
| 運転のヒント .....            | 9  |
| 保守 .....                | 10 |
| バーチカッターの潤滑 .....        | 10 |
| リールベアリングの調整 .....       | 10 |
| ブレードをシャフトから取り外す .....   | 11 |
| ブレードの取り付け .....         | 11 |
| ローラの整備 .....            | 11 |

# 安全について

この機械は EN ISO 5395:2013 適合製品です。

**安全な御使用のためには機械の運転、移動や搬送、保守整備、保管などに係わる人々の日常の意識や心がけ、また適切な訓練などが極めて重要です。不適切な使い方をしたり手入れを怠ったりすると、死亡や負傷などの人身事故につながります。事故を防止するために以下に示す安全のための注意事項を必ずお守りください**

- バーチカッターをお使いになる前に、トラクションユニットのマニュアルもよくお読みになり、内容をよく理解してください。
- このバーチカッターをお使いになる前にこのマニュアルをよくお読みになり、内容をよく理解してください。使い方を守ってください。
- 子供には絶対にトラクションユニットの運転やバーチカッターの使用をさせないでください。大人であっても適切な訓練を受けていない人には、トラクションユニットの運転やバーチカッターの操作をさせないでください。このマニュアルを読み、内容をきちんと理解した人のみが取り扱ってください。
- アルコールや薬物を摂取した状態では絶対に運転しないでください。
- 機械が落雷を受けると最悪の場合死亡事故となります。稲光が見えたり雷が聞こえるような場合には機械を運転しないで安全な場所に避難してください。
- ガードなどの安全装置は必ず所定の場所に取り付けて使用してください。安全カバーや安全装置が破損したり、ステッカーの字がよめなくなったりした場合には、機械を使用する前に修理や交換を行ってください。また、常に機械全体の安全を心掛け、ボルト、ナット、ネジ類が十分に締まっているかを確認してください。
- 作業には必ず、すべりにくい頑丈な靴をはいてください。サンダルやテニスシューズ、スニーカーやショーツでバーチカッターを取り扱うことは避けてください。また、だぶついた衣類は機械にからみつく危険がありますから着用しないでください。必ず長ズボンを着用してください。安全メガネ、安全靴、およびヘルメットの着用をおすすめします。地域によってはこれらの着用が義務付けられています。
- 作業場所をよく確認し、バーチカッターにはね飛ばされる危険のあるものはすべて取り除いてください。作業場所から人を十分に遠ざけてください。
- 刃が硬いものにぶつかったりカッティングユニットが異常な振動をしたりした場合は直ちにエンジンを停止し、そして。バーチカッターに損傷が発生していないか点検してください。損傷や異常があれば修理を行い、点検修理が終わるまでは作業を再開しないでください。

- 機械から離れる際には、必ずバーチカッターを地面まで降下させ、エンジンを止めてキーを抜き取ってください。
- ボルト、ナット、ネジ類は十分に締めつけ、常にバーチカッター全体の安全を心掛けてください。
- 整備・調整格納作業の前には、エンジンが不意に作動することのないよう、必ずキーを抜き取っておいてください。
- このマニュアルに記載されている以外の保守整備作業は行わないでください。大がかりな修理が必要になった時や補助が必要な時は、Toro 正規代理店にご相談ください。
- せっかく手に入れた大切な機械を守り、確かな性能を維持するために、交換部品はトロの純正部品をご使用ください。純正パーツは、トロが設計・指定した、完成品に使用されているものと全く同じ、信頼性の高い部品です。確かな安心のために、トロの純正にこだわってください。

## 安全ラベルと指示ラベル



危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



93-6688

1. 警告 – 整備作業前にマニュアルを読むこと。
2. 手足や指の切断の危険 エンジンを止め、各部の完全停止を待つこと。

# 組み立て

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

| 手順 | 内容                     | 数量     | 用途              |
|----|------------------------|--------|-----------------|
| 1  | バーチカッター                | 1      | バーチカッターの点検      |
| 2  | 移動用ローラ・アセンブリ<br>コッターピン | 2<br>2 | 移動用ローラを取り付けます。  |
| 3  | 必要なパーツはありません。          | －      | ブレードの深さを調整する。   |
| 4  | 必要なパーツはありません。          | －      | 後シールドを調整します。    |
| 5  | 必要なパーツはありません。          | －      | ローラスクレーパを調整する。  |
| 6  | 必要なパーツはありません。          | －      | 移動用ローラを取り付ける。   |
| 7  | 必要なパーツはありません。          | －      | バーチカッターリールの取り付け |

## その他の付属品

| 内容           | 数量 | 用途                         |
|--------------|----|----------------------------|
| パーツカタログ      | 1  | 以下の文書をよく読み、適切な場所に保管してください。 |
| オペレーターズマニュアル | 1  |                            |

**重要** 全部そろっていないと正しい組み立てができません。

**注** 前後左右は運転位置からみた方向です。

**注** バーチカッターの底部を見るためにユニットを立てる場合には、キックスタンドスタンドはトラクションユニットの付属品です。支えてください。図 2。

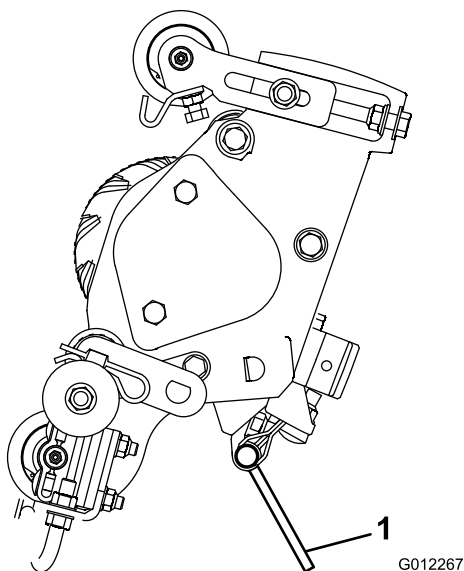


図 2

1. キックスタンド

# 1

## バーチカッターの点検

### この作業に必要なパーツ

|   |         |
|---|---------|
| 1 | バーチカッター |
|---|---------|

### 手順

バーチカッターの梱包を解いたら、以下のことを確認してください。

1. リールの両側にグリスが付いていることを確認する。リールベアリングとリールシャフトのスプラインに目で見えてはつきりグリスが確認できることが必要。
2. ボルトナット類にゆるみがないか点検。
3. キャリアフレームのサスペンションに噛み込みや引っ掛かりがないか点検。

# 2

## 移動用ローラを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|   |              |
|---|--------------|
| 2 | 移動用ローラ・アセンブリ |
| 2 | コッターピン       |

### 手順

コッターピンを使って、移動用ローラブラケットを各サイドプレートにピンに固定する。図 3。

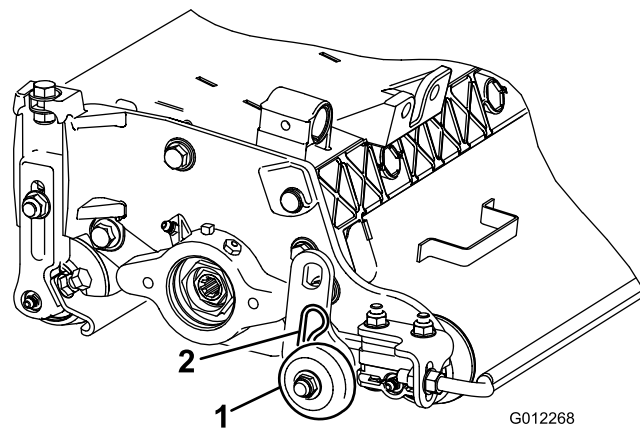


図 3

1. 移動用ローラ・アセンブリ 2. コッター・ピン

**注** ローラをバーチカッターの後部に取り付ける。

# 3

## ブレードの深さを調整する

**必要なパーツはありません。**

### 手順

**注** ブレードの最大食い込み深さは 6 mm が推奨です。

1. バーチカッターのリールを、平らな場所に置く。
2. 希望する深さ刃が地面に食い込む深さと同じ厚さのゲージバーを 2 枚用意し、ユニットの左右で後ローラとバーチカッターリールの下にあてがう。図 4。

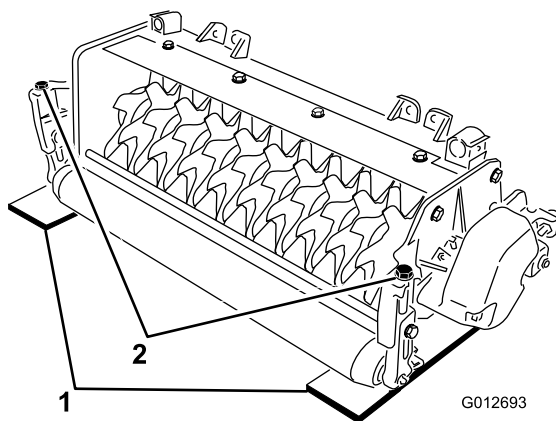


図 4

1. ゲージバー

2. 調整ボルト

**注** バーチカッターのブレードがゲージバーに当たってはいけません。

- 各刈高ブラケットについている調整ボルト 図 4 を使って、リール刃の両端を床に接触させる。

**注** バーチカッターの刃が磨耗するにつれてリールの直径が小さくなっていくため、設定は徐々に変化します。希望通りの設定になっているかどうか定期的に調整を確認してください。

## 4

### 後ガラスシールドを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

**注** ごみや異物の多いターフやサッチが非常に厚くなっているターフでは後ろ側の排出口を開いてください。

- ガラスシールドのピボットについているボルトをゆるめる 図 5。

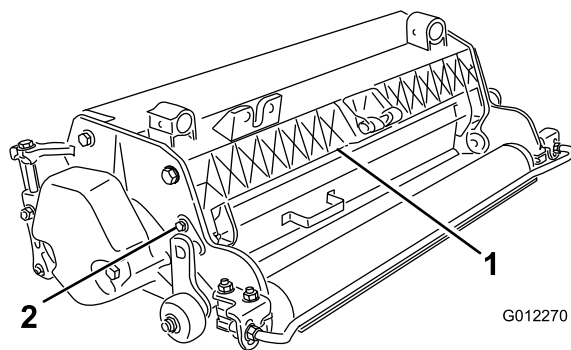


図 5

1. 後ガラスシールド

2. ピボットボルト

- ガラスシールドを希望する高さに調節し、ボルトを締める 図 5。

#### ▲ 注意

後部シールドを開きすぎないこと。地表面と平行な状態より大きく開かないこと。

異物が飛び出して人にけがをさせる恐れがある。

## 5

### ローラスクレーパを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

- ローラスクレーパを固定しているフランジナットをゆるめる 図 6。

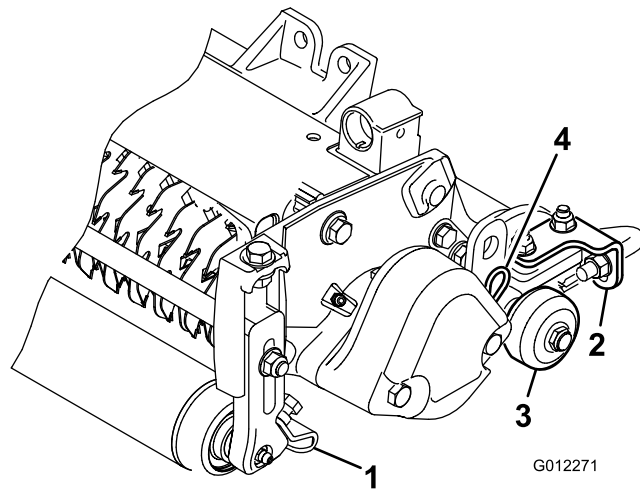


図 6

1. 前ローラスクレーパ

3. 移動用ローラ

2. 後ローラスクレーパ

4. コッターピン

- スクレーパのロッドの位置を調整して、スクレーパとローラとの間に 00.75 mm のすき間を作る。
- スクレーパのロッドがローラおよび床面と平行になっていることを確認する。
- その後、フランジナットを締めて調整を固定する。

## 6

### 移動用ローラを調整する

必要なパーツはありません。

#### 手順

整備場の床にバーチカッターを降ろすときやトラクションユニットから外して床に置く場合には、ブレードが床にあたって破損しないよう、必ず移動用ローラを降ろしてください [図 6](#)。

- 移動用ローラブラケットをサイドプレートのピンに固定しているコッターピンを外す。
- 移動用ローラを以下のようにセットする
  - バーチカッターを床に降ろす前にローラブラケットを降ろす。
  - バーチカッターを床から作動位置まで上げてからローラブラケットを上げる。
- コッターピンを使って、移動用ローラブラケットをサイドプレートのピンに固定する。
- 同様の方法でユニットの反対側でも作業を行う。

## 7

### バーチカッターリールの取り付け

必要なパーツはありません。

#### 手順

**重要** バーチカッターのリールを不用意に降下させると、ブレードがコンクリートの床などに当たって破損しますから十分に注意してください。コンクリートの床や舗装面にバーチカッターを降ろすときには、移動用ローラを降ろしてください。

バーチカッターは、トラクションユニットの3ヶ所の取り付け位置のどこにでも取り付けることができ

ます。各位置における油圧モータの配置を [図6](#) に示します。バーチカット・ユニットの右側に油圧モータを取り付ける場合には、必ずユニットの左側にカウンタウェイトを取り付けます。ユニットの左側に油圧モータを取り付けた場合には、必ずユニットの右側にカウンタウェイトを取り付けます。

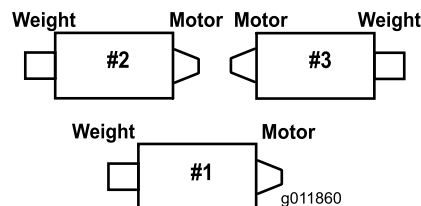


図 7

**注** カウンタウェイトはバーチカッターの左側に取り付けて出荷しています。左側ベアリングハウジングに付いているキャップスクリューは油圧モータ取り付け用です。

バーチカッターは、通常のカッティングユニットと同じようにトラクションユニットに取り付けます。取り付けについての詳細はトラクションユニットのマニュアルを参照してください。

# 製品の概要

## 仕様

|     |       |
|-----|-------|
| 純重量 | 63 kg |
|-----|-------|

# 運転操作

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

## トレーニング期間

バーチカッターリールを実際に使用する前に、希望する作業深さに設定して試運転を行い、仕上がり具合を確認してください。テスト用のエリアを作り、予想通りの仕上がりになるかどうかを確認してください。必要に応じて調整してください。

## 運転のヒント

1. トラクションユニットはフルスロットル、リール速度はフルスピード設定11番、走行速度は58 Km/h で運転しましょう。
2. ブレードの最大食い込み深さは6 mm が推奨です。
3. バーチカット作業にどの程度のパワーが必要かは、ターフや土壌の条件により変わります。場合によっては走行速度を下げる必要がでてきます。
4. ごみや異物の多いターフやサッチが非常に厚くなっているターフでは後ろ側の排出口を開いてください。

### ▲ 注意

後部シールドを開きすぎないこと。地表面と平行な状態より大きく開かないこと。

異物が飛び出して人にけがをさせる恐れがある。

# 保守

## バーチカッターの潤滑

1 台のバーチカッターに 6 か所のグリスポイントがありますから 図 8、1 週間ごとにそれぞれのポイントに No.2 リチウム系汎用グリスを補給してください。

グリスポイントは、前ローラ 2ヶ所、後ローラ 2ヶ所、リールベアリング 2ヶ所です。

**重要** ユニットの水を洗浄した場合はすぐにグリスアップしてください。ベアリング内から水を追い出しておくことにより、ベアリングの寿命を延ばすことができます。

1. グリス・ニップルの周囲をウェスできれいに拭く。
2. きれいなグリスがローラのシールやベアリングの逃がしバルブからはみ出してくるまでグリスを注入する 図 8。

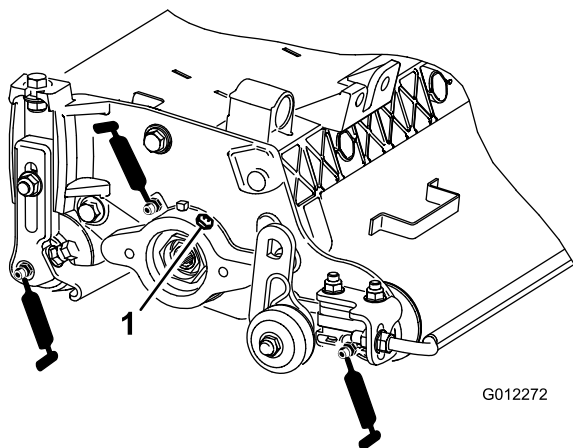


図 8

1. 逃がしバルブ

3. はみ出したグリスはふき取る。

## リールベアリングの調整

リールベアリングを長持ちさせるために、定期的にリールの遊びを調べてください。リールベアリングの点検および調整は以下の手順で行います

1. リールシャフトをつかみ、リールアセンブリを左右に揺すってガタがあるかどうかを調べる 図 9。

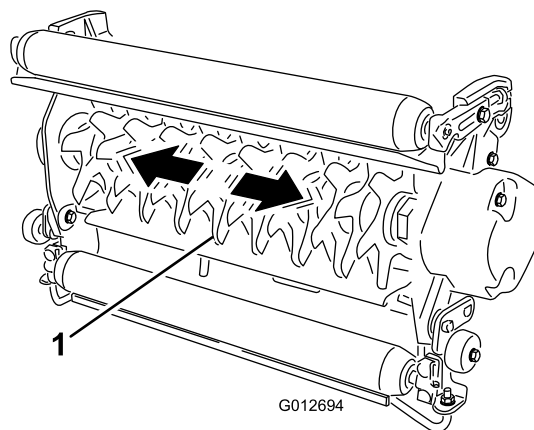


図 9

1. リールシャフト

2. ガタがある場合は、以下の手順で調整する

- A. カuttingユニットの左側にあるベアリングハウジングにベアリング調整ナットを固定している固定ネジをゆるめる 図 10。

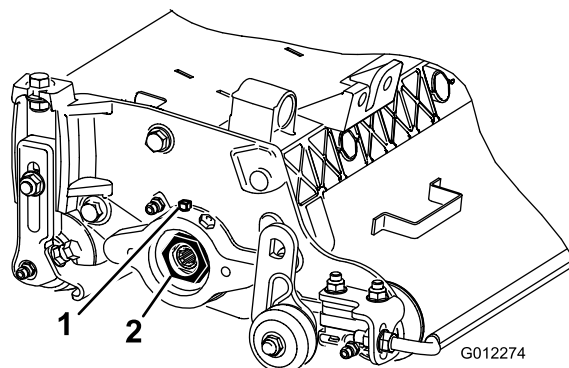


図 10

1. 固定ネジ

2. ベアリング調整ナット

- B. ソケットレンチ 1-3/8" を使って、リールベアリング調整ナットをゆっくりと締め付けてガタをなくす。この調整でガタを吸収できない場合には、ベアリングを交換する。

**注** リールベアリングに予負荷を掛ける **必要はありません**。リールベアリング調整ナットを締め付けすぎるとベアリングを破損しますから注意してください。

3. ベアリングハウジングにベアリング調整ナットを固定している固定ネジを締め付ける。各ネジを 12-15 in-lb 1.4 to 1.6 N・m=1.3 to 1.7 kg・m にトルク締めする。

## ブレードをシャフトから取り外す

1. パーチカッターシャフトの一方の端ワッシャが1枚とナットが1個ついている側を万力に固定する。
2. シャフトの反対側についているナットを左回りに回し、ナットを取り外す。

### ▲ 注意

ブレードは非常に鋭利であり、バリなどがついていて手を怪我する恐れがある。

シャフトからブレードを外すときには安全に十分注意すること。

3. 小さいスペーサ、ワッシャ、ブレード、大きいスペーサを取り外す。シャフトをきれいに洗い、次の組み立てに備えてシャフト全体に薄くグリスを塗る 図 11。

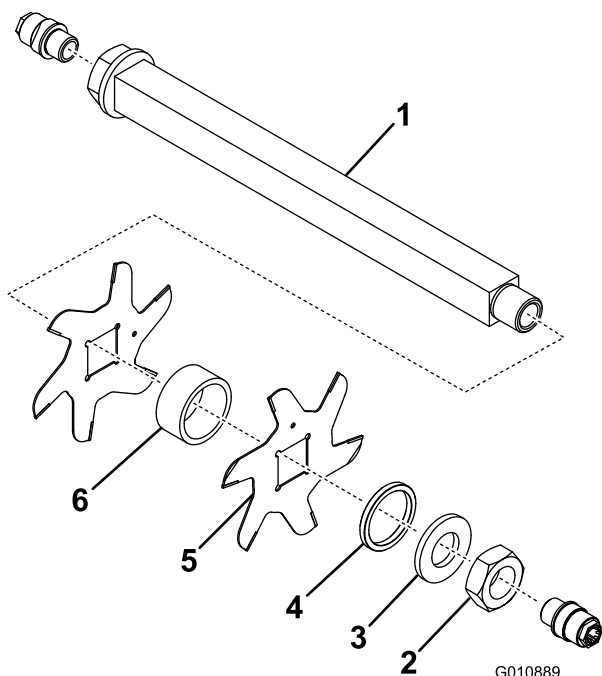


図 11

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1. シャフト | 4. 小さいスペーサ    |
| 2. ナット  | 5. ブレード16枚    |
| 3. ワッシャ | 6. 大きいスペーサ15枚 |

**重要** パーチカッターの刃を裏返さないように注意してください。分解は手順が非常に重要です。ブレードを取り外す際にブレードの順序を入れ替えたり、組み立てるときに逆順にしたりしないでください。ブレードについている目印穴に注意しながら作業してください。この目印穴は、組み立ての際にパーチカッターリールが「正しいらせん形状」になるように組み立てるためのものです。

## ブレードの取り付け

1. リール刃を組み付ける 図 12。
2. 大きいスペーサを取り付ける。
3. ブレードを取り付ける時に裏返しに取り付けないように注意すること。

**注** 裏返しに取り付けてしまうと、使用中の刃磨耗して丸いと鋭利な刃先とがまぜこぜになってしまう。このような組み付けをすると適切なパーチカットができない。分解するときには十分注意しながら行うことが非常に大事である。

4. 次のブレードを右に1/6回転ずらして、つまり、合い印が面一枚分右にずれるようにして、取り付ける 図 12。

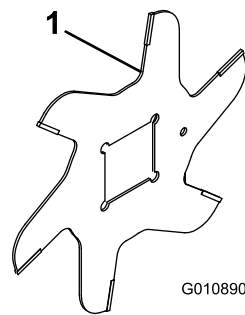


図 12

1. 目印穴

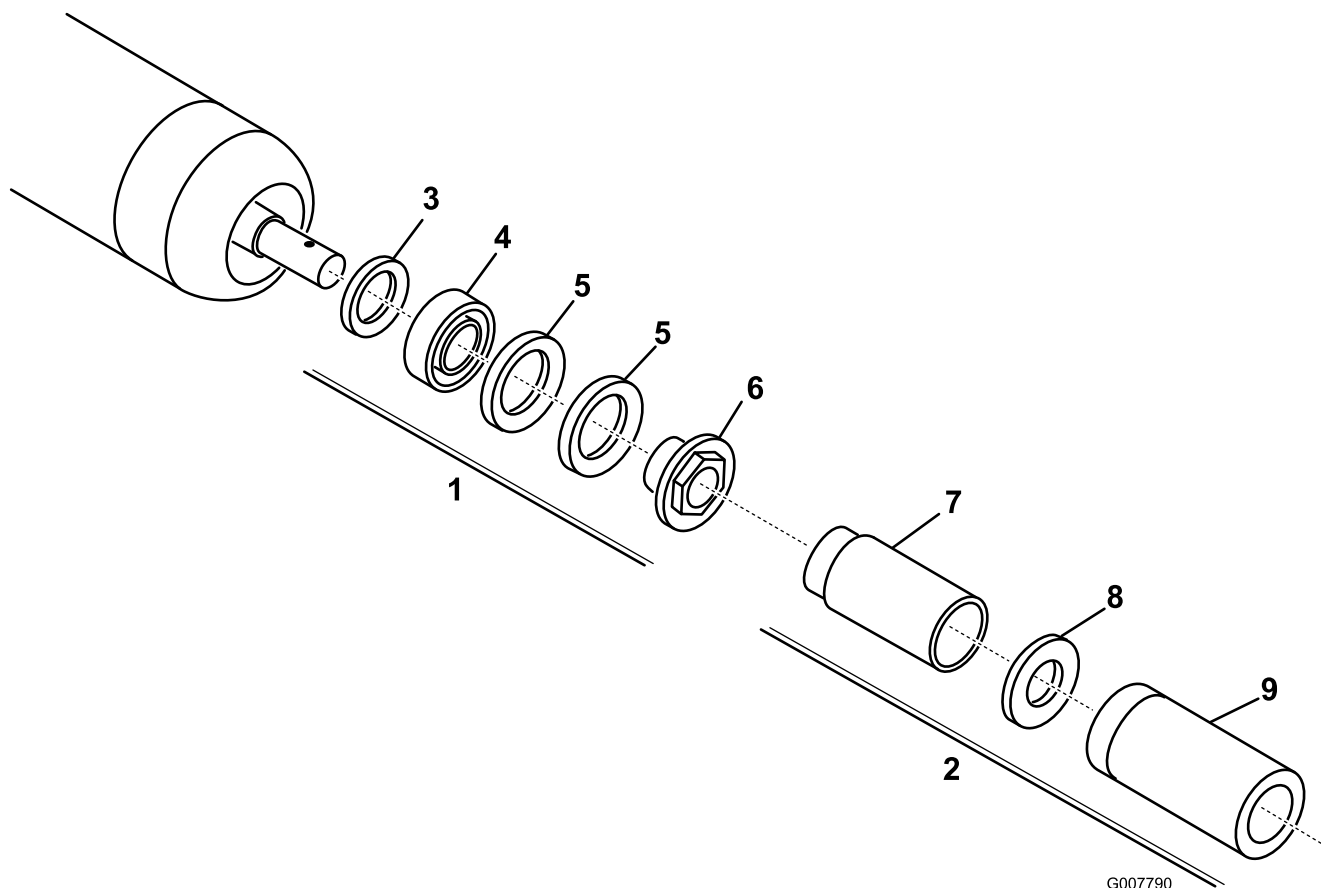
5. 以上の手順を繰り返しながら、ブレードとスペーサを交互に、最後まで取り付けてゆく。

**注** 正しく組み上がっていれば、リール全体がきれいにねじれた形状の円柱となる。

6. 小さいスペーサをシャフトに取り付ける。
7. ナットに青色ロクタイト#242を塗る。ナットをシャフトに取り付け機械加工してある面をスペーサに向けて取り付けること、109-136 N・m 10.913.6 kg・mにトルク締めする。

## ローラの整備

ローラの整備用として、ローラリビルドキットPart No. 114-5430およびローラリビルドツールキットPart No. 115-0803をご用意しております 図 13。ローラリビルドキットは、ローラの分解組み立てに必要なすべてのベアリング、ベアリングナット、内側シール、外側シールをセットにしたキットです。ローラリビルドツールキットは、ローラリビルドキットをつかってローラの再組み立てを行うのに必要な工具と説明書のキットです。詳細は、パーツカタログをご覧ください。代理店にお問い合わせください。



G007790

図 13

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. リビルドキット Part No. 114-5430    | 6. ベ어링ナット       |
| 2. リビルドツールキット Part No. 115-0803 | 7. 内側シールツール     |
| 3. 内側シール                        | 8. ワッシャ         |
| 4. ベ어링                          | 9. ベ어링/外側シールツール |
| 5. 外側シール                        |                 |

メモ

# 組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

| モデル番号 | シリアル番号       | 製品の説明          | 請求書の内容                  | 概要            | 指示         |
|-------|--------------|----------------|-------------------------|---------------|------------|
| 03184 | 315000001 以上 | 27 インチ・パーチカッター | RM 3100 27" VERTICUTTER | 27インチ パーチカッター | 2006/42/EC |

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



David Klis  
上級エンジニアリングマネージャ  
8111 Lyndale Ave. South  
Bloomington, MN 55420, USA  
January 19, 2015

EU技術連絡先

Peter Tetteroo  
Toro Europe NV  
B-2260 Oevel-Westerloo  
Belgium

Tel. 0032 14 562960  
Fax 0032 14 581911

## 米国外のディストリビューター一覧表

| ディストリビューター輸入販売代理店                  | 国         | 電話番号              | ディストリビューター輸入販売代理店            | 国        | 電話番号             |
|------------------------------------|-----------|-------------------|------------------------------|----------|------------------|
| Agrolanc Kft                       | ハンガリー     | 36 27 539 640     | Maquiver S.A.                | コロンビア    | 57 1 236 4079    |
| Balama Prima Engineering Equip.    | 香港        | 852 2155 2163     | Maruyama Mfg. Co. Inc.       | 日本       | 81 3 3252 2285   |
| B-Ray Corporation                  | 大韓民国      | 82 32 551 2076    | Mountfield a.s.              | チェコ共和国   | 420 255 704 220  |
| Casco Sales Company                | プエルトリコ    | 787 788 8383      | Mountfield a.s.              | スロバキア    | 420 255 704 220  |
| Ceres S.A.                         | コスタリカ     | 506 239 1138      | Munditol S.A.                | アルゼンチン   | 54 11 4 821 9999 |
| CSSC Turf Equipment (pvt) Ltd.     | スリランカ     | 94 11 2746100     | Norma Garden                 | ロシア      | 7 495 411 61 20  |
| Cyril Johnston & Co.               | 北アイルランド   | 44 2890 813 121   | Oslinger Turf Equipment SA   | エクアドル    | 593 4 239 6970   |
| Cyril Johnston & Co.               | アイルランド共和国 | 44 2890 813 121   | Oy Hako Ground and Garden Ab | フィンランド   | 358 987 00733    |
| Equiver                            | メキシコ      | 52 55 539 95444   | Parkland Products Ltd.       | ニュージーランド | 64 3 34 93760    |
| Femco S.A.                         | グアテマラ     | 502 442 3277      | Perfetto                     | ポーランド    | 48 61 8 208 416  |
| ForGarder OU                       | エストニア     | 372 384 6060      | Pratoverde SRL.              | イタリア     | 39 049 9128 128  |
| ゴルフ場用品株式会社                         | 日本        | 81 726 325 861    | Prochaska & Cie              | オーストリア   | 43 1 278 5100    |
| Geomechaniki of Athens             | ギリシャ      | 30 10 935 0054    | RT Cohen 2004 Ltd.           | イスラエル    | 972 986 17979    |
| Golf international Turizm          | トルコ       | 90 216 336 5993   | Riversa                      | スペイン     | 34 9 52 83 7500  |
| Guandong Golden Star               | 中華人民共和国   | 86 20 876 51338   | Lely Turfcare                | デンマーク    | 45 66 109 200    |
| Hako Ground and Garden             | スウェーデン    | 46 35 10 0000     | Solvart S.A.S.               | フランス     | 33 1 30 81 77 00 |
| Hako Ground and Garden             | ノルウェー     | 47 22 90 7760     | Spypros Stavrinides Limited  | キプロス     | 357 22 434131    |
| Hayter Limited (U.K.)              | 英国        | 44 1279 723 444   | Surge Systems India Limited  | インド      | 91 1 292299901   |
| Hydroturf Int. Co ドバイ              | アラブ首長国連合  | 97 14 347 9479    | T-Markt Logistics Ltd.       | ハンバリー    | 36 26 525 500    |
| Hydroturf Egypt LLC                | エジプト      | 202 519 4308      | Toro Australia               | オーストラリア  | 61 3 9580 7355   |
| Irrimac                            | ポルトガル     | 351 21 238 8260   | トロ・ヨーロッパNV                   | ベルギー     | 32 14 562 960    |
| Irrigation Products Int'l Pvt Ltd. | インド       | 0091 44 2449 4387 | Valtech                      | モロッコ     | 212 5 3766 3636  |
| Jean Heybroek b.v.                 | オランダ      | 31 30 639 4611    | Victus Emak                  | ポーランド    | 48 61 823 8369   |

## 欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

### トロが収集する情報について

トロ・ワランティー・カンパニー・トロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

### トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

### あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

### 弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

### あなたの個人情報やその訂正のためのアクセス

登録されているご自分の情報をご覧になりたい場合には、以下にご連絡ください [legal@toro.com](mailto:legal@toro.com)。

## オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。



## Toro 一般業務用機器の品質保証

### 年間品質保証

#### 保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro フランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。  
\*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

#### 保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department  
Toro Warranty Company  
8111 Lyndale Avenue South  
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740  
E-mail: commercial.warranty@toro.com

#### オーナーの責任

「製品」のオーナーはオペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

#### 保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

#### 米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

#### 部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかは判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

#### ディープサイクルおよびリチウムイオン・バッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオン・バッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 35 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

#### 保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

#### その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用中に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

#### エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。